



おすすめ絵本



『クリスマスにはおくりもの』

五味 太郎 作 絵本館

クリスマスを楽しみにしているのは、サンタさんもいっしょ！プレゼントをもらうのが当たり前になってしまったこのごろのクリスマスですが、この絵本が描いているのは、「相手を思う心」と「贈るたのしさ」です。

心が温まる一冊になっています。

『メリークリスマスおおかみさん』

宮西 達也 作・絵 女子パウロ会

はらぺこおおかみと心優しいこぶたのきょうだいのやりとりに、クスッと笑わせてもらうそんな一冊です。

クリスマスにぜひ・・・

ふ〜ん! / ではなをかむ練習から始めましょう

大人にとってはなをかむのは簡単なことですが、小さな子どもは、鼻から息を吹き出すのも難しいもの。まずは練習から始めましょう。

鼻から息を吹いてみる



「お鼻からフーンって吹くよ」と声をかけて、鼻から息を吹き出させます。ティッシュペーパーや、糸につるした紙飛行機を顔の前に垂らし、揺らす遊びもおすすめ。

片方ふさいで吹いてみる



鼻から息を吹けるようになったら、片方の鼻の穴をふさいで、やさしく息を吹くよう声をかけます。上手になったら、ティッシュペーパーを当てて片方ずつはなをかませてみます。

12/13

正月事始め

徳川幕府が、12月13日を江戸城御煤納めの日と定め、江戸城内で煤払い（大掃除）をおこなったのに倣って、庶民もこの日に煤払いをするようになりました。煤払いが終わると商家の主人の胴あげをしたり、煤払い餅や団子を食べたりする風習もあったそうです。

12/21

冬至



1年でもっとも昼が短く、夜が長い日。この日を境に日がのびていくことから「一陽来復」とされ、運氣が上昇する日ともいわれます。冬至を「湯治」とかけて、ゆず湯に入ると風邪をひかないとも。また、昔からの冬至の風習である、「南瓜（かぼちゃの別名）やこんにやくなど、「ん」のつくものを食べると健康に過ごせるといわれています。

何の日?

12/31

大晦日

毎月末日を「晦日」といい、1年の最後の日を「大晦日」というようになりました。しめ縄を飾り、鏡もちを供えて新年を迎える準備をします。大晦日の深夜12時をはさんでつく除夜の鐘は、人の煩惱の数といわれる108つの回数をつきます。大晦日の夜、年神さまを迎えるために寝ないで待つことを「年籠り」といい、寝てしまうと「白髪が増える」「しわが増える」といわれています。

